

授業科目名・形態	高齢者・精神地域実習 実習	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	畠山 禮子・戸田博行	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

精神に障害をもつ人を疾病と障害を併せ持つ生活者として理解し、社会復帰の過程と意味を学ぶために、精神障害者社会復帰施設等で実際に実習を行う。さらに、関連機関との連携やノーマライゼーションの重要性などについて理解を深める。

今後増加する認知症高齢者が生活の場として暮らし、自分らしく生きるということの理解を深めるために、精神看護の視点から認知症高齢者対応の「グループホーム」、「ディサービス」等への実習を行う。

【到達目標】

1. 精神に障害をもつ人の特徴を理解し、社会復帰のための看護活動の実際を学ぶ。
2. 社会復帰の必要性和意味について理解する。
3. 社会復帰を促進するための社会資源の活用方法について学ぶ。
4. ノーマライゼーションの重要性を理解する。
5. 地域における社会復帰施設の実際を知る。
6. 社会復帰を支援する関連職種の役割と連携について学ぶ。
7. 認知症高齢者が住みなれた地域で自分らしく生活することの重要性を理解する。

【授業計画・内容】

詳細は実習オリエンテーションで提示する。

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

実習事前学習等については別紙で提示する。

【主な関連する科目】

病態治療学Ⅲ、精神看護学概論、精神看護方法論Ⅰ、精神看護方法論Ⅱ

【教科書等】

「病態治療学Ⅲ（精神疾患）」で使用したテキスト、
 萱間真美 野田文隆 「精神看護学Ⅰ 精神保健・多職種のつながり こころ・からだ・かかわりのプラクティス」
 改訂第2版 南江堂 2015.

吉松和哉 小泉典章 川野雅資 編集 「精神看護学Ⅰ 精神保健学」第6版 スーベールヒロカワ出版、2015.
 川野雅資 編集 「精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学」第6版 スーベールヒロカワ出版、2015.

【参考文献】

随時資料等配布

【成績評価方法】

実習状況（60%）、実習記録・検討会等（40%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院で精神科看護職として患者や家族への対応等について経験

実務経験から得た精神科看護の役割や患者さんへのかかわり方等について実習で活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

利用者の方々と過ごす時間を大切にしてください。